

苦小牧駅周辺ビジョンに基づく基本構想（案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和6年2月27日 ～ 令和6年3月27日 （30日間）

意見提出人数 4人

提出意見件数 10件

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	(原文・ <b>整理要約</b> 有・ <b>無</b> ) 2-3 予定建築物の規模、配置_配置検討、断面構成検討について 通路、建物内のバリアフリー化、ある程度の全天候型、雨や雪から心配なく、目的の場所へ移動が出来ること。この先、苦小牧市も高齢者が一段と多くなると考えられます。 ひとつひとつ解体を進め、イメージを作ることが大事に思えます。苦小牧駅とバスターミナルが一層する事により、観光の方々にもより良く利用され、ホテルへの道も良くなると思っています。	具体的な機能配置は今後の検討になりますが、駅とバス乗り場までの動線など、あらゆる世代の人にとって快適に移動ができるよう検討を進めて参ります。 また、駅前の再整備においては JR やバス事業者などの交通事業者とも協議をしながら進めて参ります。	B
2	1	(原文・ <b>整理要約</b> 有・ <b>無</b> ) 駅周辺ビジョン 「創造的学び」と「暮らし」が会う街 2-3 予定建築物への提案 「創造的学び」から科学センター建替え、移転問題も含め	具体的な機能については今後の検討になりますが、駅周辺ビジョンに示したコンセプトである『「創造的学び」と「暮らし」が会う街』に基づき、中心市街地に人々が訪れる要素を検討しており、いただいたご意見もその要素の一つでありますの	B

		<p>考えた方が良くと思います。もし科学センターを併設するとサイエンスパーク、子育て支援とつながり、子供から大人、障害のある方まで集うスペースが出来ると思います。</p> <p>この4月1日に札幌市科学センターのリニューアルオープンを見ましたが、あそこまでとはいかないまでも今の科学センターに魅力がありませんので、是非魅力ある施設として蘇るきっかけになると思います。</p> <p>そして、駅からR36、市民ホールのシンボルストリート、市民ホールから文化公園までのカルチャーストリートを再構築していただきたいと思っています。</p> <p>参考まで、歩道は遊歩道も含めブロックだと高齢者や障害者にやさしい造りではないと思います。</p>	<p>で、今後の検討において、参考にさせていただきます。</p> <p>また、駅から市民文化ホールへのウォークアブルな（歩きたくなるような）通りの実現に向けた機能配置の検討と、カルチャーストリートへ繋がるための活用についても整理して参ります。</p>	
3	1	<p><b>(原文・整理要約 有・無)</b></p> <p>P. 12</p> <p>・ウォークアブルに関して</p> <p>健脚ではないむきには、停留所、休憩所を。</p> <p>あるいは、全部、休憩所。</p>	<p>ウォークアブルに関しては目的地までの移動手段のみではなく、エリアの途中で休憩をしたり、通り沿いの場所に立ち寄ったりと、歩きながら通り全体で楽しむことができる空間づくりを示しており、この実現に向けての機能を検討して参ります。</p>	<b>B</b>
4	1	<p><b>(原文・整理要約 有・無)</b></p> <p>P. 16</p> <p>・ハードの提案例として</p> <p>長寿命なコンクリートの開発。</p> <p>リサイクルウッド的な新素材の開発。</p> <p>初めから、終わりまでのFM的視点を考慮した建築群を。</p>	<p>・ハードの整備に関しては、解体・建築のみならずその後の維持管理といった長期的な視点で費用を検討して参ります。</p>	<b>C</b>

5	1	<p>(<b>原文</b>・整理要約 有・<b>無</b>)</p> <p>P. 17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨風を凌げる屋根はあるのでしょうか。ドームの実現可能性について。</li> </ul>	<p>具体的な機能配置は今後の検討になりますが、雨風や冬期間の降雪など、利用者の快適性を考慮しながら、進めて参ります。</p>	<b>C</b>
6	1	<p>(<b>原文</b>・整理要約 有・<b>無</b>)</p> <p>P. 20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解体費用が高い。</li> <li>・ハードとソフトの提案例として建築解体ショーを。詳細な記録で文化遺産に。NFT とかプロジェクションマッピングとか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体費用については、その後の土地利用も含めて民間事業者とヒアリングをしながら進めて参ります。また、国の補助金や交付金を可能な限り活用し公費の負担を軽減しながら、市民に広く理解を得られる計画を検討して参ります。</li> </ul>	<b>C</b>
7	1	<p>(<b>原文</b>・整理要約 有・<b>無</b>)</p> <p>P. 23</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文選考等でスタッフやメンバーへのポスト、道を開いていただきたい。</li> </ul>	<p>目指す姿「8つの目標」については、駅周辺ビジョンにおいて示したコンセプトである「創造的学びと暮らしが出会う街」を実現するための主要なテーマとして掲げております。</p> <p>これらを実現するために、今後パブリックミーティングなど広く皆様の意見をいただく機会を設けながら、具体的な事業展開を検討して参ります。</p>	<b>B</b>
8	1	<p>(<b>原文</b>・整理要約 有・<b>無</b>)</p> <p>P. 26 と 27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハスカッププラザと UDC は、どう交わって（関わり合っ）ていくのでしょうか。</li> </ul>	<p>UDC は行政と、市民・民間のまちづくりの活動を繋ぐ架け橋として、相互の取組を連動させ、駅周辺ビジョンを推進していくために設立するもので、COCOTOMA を拠点としています。</p> <p>UDC の構成はまちづくりに知見のある専門家や苫小牧市に加えて、拠点である COCOTOMA の指定管理者であるハスカッププラザにもその構成員の一員として、参画していただきながら、官学民の連携によるまちづくり活動を進めて参ります。</p>	<b>E</b>

9	1	<p><b>(原文・整理要約 有・無)</b></p> <p>〈P16～17の配置について〉</p> <p>つぎはぎのパズルのようでわくわくできず残念な印象。駅舎はどうするのでしょうか？建て替え？現行？現在はコンビニの敷地が広々ととられ、駐車・訪店が苦になりません。この案の立体回の位置では特に冬は利用を考えてしまいます。苫小牧は夏は霧、冬は晴れるが冷風と凍結路面。「歩き」を楽しめるのはごくわずかな期間です。広くリサーチを重ね再考いただきたいです。またさまざまな列車が通過する光景を楽しめる仕掛け、工夫、配慮を検討してください。貴重な土地柄であると信頼できる鉄道マニアが力説しています。</p>	<p>駅舎に関しては、エリア全体の再整備の方向性についてJR北海道との合意形成を行ったうえで連携しながら進めて参ります。また、具体的な配置検討については、市民の皆様の声を伺いながら、苫小牧の風土や特徴といった視点でも検討することで、より多くの方に利用していただける空間を整備して参ります。</p>	C
10	1	<p><b>(原文・整理要約 有・無)</b></p> <p>案の全体を通じて感じるのは、過去の失敗を振り返り、そこから学んでいないのではないか？という懸念です。ここであえて「失敗」と表現したのは「樽前ハイランド」(後にサファリパークが営業・撤退)、ショッピングビル「トピア」「苫小牧駒沢大学」「長崎屋」(後に室内遊園地を新設・撤退)等を指します。いずれも開設時は注目を集めながら維持が難しくなり、今は跡形もありません。ではなぜ継続できなかったのか、経緯や要因が検証され、次世代に受け継がれている様子は残念ながら市内で見受けられません。</p> <p>駅周辺で目指す「にぎわい創出」は、「ハレとケ」の「ハレ」であり、日常ではありません。「にぎわい」を目標の中心に</p>	<p>今回お示しする基本構想では、駅前周辺エリアにおいてハードとソフトの両面から整備していくことで駅周辺ビジョンを推進しています。</p> <p>今後の再整備においては、建物(ハード)を整備するだけでなく、その先の活用についても目を向け、いかに皆様に活用していただけるエリアとするかを重要視しております。</p> <p>駅前の機能配置は今後具体的に検討していくこととなりますが、行政だけでなく、パブリックミーティングなど広く皆様の意見をうかがう機会を設けて、変わりゆく時代のニーズに合わせた検討を進めて参ります。</p> <p>また、駅周辺エリアにおける賑わいの考え方については、イベ</p>	C

	<p>据え置くと市民の「日常」から遠ざかり、「歩く（ウォーカブル）」道も「子育て支援」施設も、利用しにくいばかりか、まさしく「絵に描いた餅」になったりしないでしょうか？</p> <p>苫小牧は労働者の街です。日頃せっせと働き、休日はのんびりしたい。仕事がある日は街を歩くのは至難の業。さっと車に乗って用事は手早く済ませたい。子連れならなおさら。わざわざ駅周辺まで足を延ばせるのはわずかな市民のみでは？と思います。</p> <p>さらに、これらの特質や経緯を持つ苫小牧の中心部を、指定管理業者にすっかり任せてしまうことは、「市」として街の現在も未来も放棄するに近いのではないかと不安を覚えます。</p> <p>「安心できる幸せな暮らし」とはどういうことか、今一度、足元から地道に確かめあっていただきたいと思います。</p>	<p>ントなど、瞬間的な集客向上による「賑わい」だけでなく、それらをきっかけに、日常的にエリア内で活動を行う人が存在する状態を指しています。この実現に向け、駅周辺エリアに日常的に人が集まるための機能配置や、当該エリアにおいてさまざまなまちづくりの活動を行うプレーヤーの育成（エリアプラットフォームの組成）に向けた実証事業を展開して参ります。</p> <p>COCOTOMA を拠点とする UDC 機能は上記のようなエリアプラットフォームの組成を支援するものであり、組織体制は指定管理者だけでなく、苫小牧市、まちづくりに知見のある専門家なども積極的に参画し、官民連携のまちづくりを推進して参ります。</p>	
--	--	--	--

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。